

事業所における自己評価結果(公表)

公表日: 2024年2月29日

事業所名: 児童発達支援 児童発達支援ルピナス教室

回答職員 7名

		チェック項目	はい	いいえ	無回答	改善目標、工夫している点等
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7			小集団活動・個別活動別配置を変えて対応しております。
	②	職員の配置数は適切である	7			基本の人員配置を厳守し、利用人数に応じて十分に対応できる配置数の設定を心掛けています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7			利用者さんが刺激を受けて活動に支障がないように活動時以外は備品等最小限度の設置にしております。今後の課題としましてはバリアフリー化について検討しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7			衛生対策、感染対策として清掃、換気、除菌には細心の注意を払っております。利用人数、利用活動内容によって空間の使用方法を工夫しています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6		1	利用者用個人のアセスメント表や申し送りノートを活用したり、毎日の朝礼や定期的なミーティングを行い業務改善に努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6		1	毎年度保護者様にご協力いただき事業所の評価とご意見を頂いております。自己評価表の内容を職員間にて共有し検討した上で課題に対して前向きに取り組んでいます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6		1	毎月の発行している会報「ルピナス通信」やFacebook、ホームページにて公開しています。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	1	1	委託している外部の第三者にて評価を伺い業務改善にに努めています
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			外部の研修に積極的に全職員が参加できるよう調整し支援のスキルアップに繋げています。本年度も複数の研修に参加致しました。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7			半年ごとに保護者との面談を行い現状のお子様の生活状況やご本人を取り巻く環境について詳しく情報を収集しています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6		1	標準化されたアセスメントツールを使用しながら本児の発達段階を把握しています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6		1	個別支援計画更新時の面談の際家庭や在籍園、または関係機関での本児の状況を把握した上で支援内容を検討し作成しています。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	7			個別支援に基づいた支援を実践しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		1	小集団活動はもとより個別活動に関してもお子様に適切かつ質の高い支援が出来るように職員間にて話し合っています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			運動療育は月毎に目的を定めて目的に適した運動内容にしています。また日替わり活動や一週間ごとに変わる活動、制作、リズム遊びなど様々な分野を取り入れています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて児童発達支援計画を作成している	7			お子様の現状に即した支援内容の個別支援計画を作成しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			毎朝朝礼にてその日ご利用のお子様の体調及び支援内容、伝達事項、役割分担について周知しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		1	職員間にて情報の共有は時間のある時に積極的に行っています。申し送りノートを活用し次日の支援者への情報提供も行っています。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			毎日、利用者さんのサービス提供記録を記載し、職員間にて内容を共有し支援の改善に繋げるようにしています。
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	7			定期的なモニタリング以外にも必要に応じて計画、支援内容の振り返り、分析を行いその時の状態に応じた見直しをしています	
関係機関や	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6		1	児童発達支援管理責任者と該当事者の行動に精通している職員が出席しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	6		1	必要に応じて必要な関係機関と連携を図っています。

保護者との連携関係機関や保護者との	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5		2	現在は医療的ケアが必要なお子様の在籍はありませんが以前は該当するお子様の専門機関と連携を図りながら支援を行っていました。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1	1	現在は医療的ケアが必要なお子様の在籍はありませんが以前は該当するお子様の保護者から情報の提供を頂き専門機関や協力機関と連携を図りながら支援を行っていました。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		1	必要に応じて在籍園と本児の状況や支援内容の情報共有を行い連携を図っています。園側からも支援についての問い合わせを受けています
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6		1	必要に応じて関係機関へ情報提供を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		1	昨年度は療育センターの作業療法士の先生に毎月訪問指導を頂いていました。現在も療育センターからの研修には毎回参加しスキルの習得を図っています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	2	1	残念なことに一緒に活動する機会はありません。今後の課題と致します。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	2	1	本年度は3回開催された協議会に出席しました。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7			サービス提供記録の開示や送迎時にお子様の様子について伝えています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	3	1	ペアレント・トレーニングの名目では実施していません。今後は支援の幅を広げペアレント・トレーニングの支援も視野に入れていきたいと考えています。
	保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		1
33		児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6		1	事前に実施しましたモニタリング、アセスメント、保護者の要望や支援に対する意向に基づき作成しました個別支援計画について内容の説明と同意を得た上で支援の開始をさせて頂いています。
34		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6		1	保護者の方が相談しやすい環境作りを心掛けています。相談内容に対しては多角的視野から検討し保護者の負担にならないように配慮しながら適切なアドバイスが行えるようにしています。
35		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	3	1	コロナや感染症の影響もあり本年度も開催できませんでした。次年度以降社会状況を見ながら検討していきます。
36		子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6		1	窓口を設けており責任者が担当し対応させていただいております。ご相談や申し入れに関して職員間に周知し対応策、改善策を迅速に適切に実施できるように努めています。
37		定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	1		毎月の発行している会報「ルピナス通信」やFacebook、ホームページにて情報を公開しています。
38		個人情報の取扱いに十分注意している	7			個人情報の取り扱いについては慎重に対処しています。職員にも周知しています
39		障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			お子様とは日頃の関りの中で信頼関係を構築しています。保護者の方とも情報伝達の手段として記録表やラインや電話、または送迎時に伝えさせていただいています
40		事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	1	1	発表会を開催し歌やダンス等で日頃の成果を披露し地域住民様に楽しんで頂きましたがコロナの関係で中止しています。次年度以降の再開に向けて検討していきます。
非常時等の対応		41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6		1
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7			地震と火事の避難訓練は本年度も行いました。今後は回数を増やしていきたいと考えています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6		1	契約時のアセスメントにて確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	1	保護者からの医師からの指示に基づき対応策について伺っている。必要に応じて医師の指示書の提出をお願いしています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1	1	ヒヤリハット報告書にて職員間に共有するようにしています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		1	年数回研修を実施し全職員が受講し適切な対応が出来るようにしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6		1	身体拘束に関しては契約時に説明をさせて頂き、同意書を頂いています。日常的に身体拘束は行っていません。ただクールダウンが必要な時に別室への移動や抱っこなどの対応はさせて頂いております。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。